

## 平成23年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査

調査媒体:底質(単位:pg/g-dry)

地方公共団体:和歌山県

調査地点:紀の川河口紀の川大橋(和歌山市)

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[1] PCB類	6,300	4.5	12
[1-1] モノクロロビフェニル類	170	0.1	0.3
[1-2] ジクロロビフェニル類	1,200	1	3
[1-3] トリクロロビフェニル類	700	0.5	1.2
[1-4] テトラクロロビフェニル類	1,100	0.3	0.8
[1-4-1] コプラナー-PCBのうち 3,3',4,4'-テトラクロロビフェニル (# 77)	380	0.2	0.6
[1-4-2] コプラナー-PCBのうち 3,4,4',5'-テトラクロロビフェニル (# 81)	1.0	0.2	0.5
[1-5] ペンタクロロビフェニル類	1,500	0.4	1.1
[1-5-1] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4'-ペンタクロロビフェニル (# 105)	55	0.3	0.8
[1-5-2] コプラナー-PCBのうち 2,3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (# 114)	4.5	0.2	0.4
[1-5-3] コプラナー-PCBのうち 2,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (# 118)	210	0.4	1.1
[1-5-4] コプラナー-PCBのうち 2',3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (# 123)	3.6	0.3	0.8
[1-5-5] コプラナー-PCBのうち 3,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (# 126)	3.0	0.2	0.5
[1-6] ヘキサクロロビフェニル類	1,200	0.6	1.6
[1-6-1] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (# 156)	22	0.3	0.8
[1-6-2] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (# 157)	5.0	0.3	0.8
[1-6-3] コプラナー-PCBのうち 2,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (# 167)	8.8	0.4	1.0
[1-6-4] コプラナー-PCBのうち 3,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (# 169)	tr(0.6)	0.3	0.8
[1-7] ヘプタクロロビフェニル類	370	0.6	1.5
[1-7-1] コプラナー-PCBのうち 2,2',3,3',4,4',5'-ヘプタクロロビフェニル (# 170)	43	0.5	1.4
[1-7-2] コプラナー-PCBのうち 2,2',3,4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (# 180)	94	0.6	1.5
[1-7-3] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (# 189)	1.8	0.3	0.7
[1-8] オクタクロロビフェニル類	53	0.3	0.7
[1-9] ノナクロロビフェニル類	8.6	0.3	0.8
[1-10] デカクロロビフェニル	13	0.4	1.0
[2] HCB (ヘキサクロロベンゼン)	100	3	7
[4] デイルドリン	16	2	5
[5] エンドリン	22	0.4	1.1
[7] クロルデン類	39	2.5	6.5
[7-1] <i>cis</i> -クロルデン	10	0.4	1.1
[7-2] <i>trans</i> -クロルデン	10	0.5	1.3
[7-3] オキシクロルデン	nd	0.9	2.2
[7-4] <i>cis</i> -ノナクロル	5.0	0.4	1.1
[7-5] <i>trans</i> -ノナクロル	14	0.3	0.8
[8] ヘプタクロル類	nd	1.8	4.7
[8-1] ヘプタクロル	nd	0.7	1.8
[8-2] <i>cis</i> -ヘプタクロルエポキシド	0.7	0.2	0.6
[8-3] <i>trans</i> -ヘプタクロルエポキシド	nd	0.9	2.3
[10] マイレックス	nd	0.4	0.9
[11-1] $\alpha$ -HCH	770	0.6	1.5
[11-2] $\beta$ -HCH	530	1	3
[11-3] $\gamma$ -HCH(別名:リンデン)	130	1	3
[11-4] $\delta$ -HCH	200	0.5	1.4

(注1) 検出下限値以上を検出とした。

(注2) 定量[検出]下限値は同族体ごとの定量[検出]下限値の合計値とした。

平成23年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査  
 調査媒体:底質(単位:pg/g-dry)  
 地方公共団体:和歌山県  
 調査地点:紀の川河口紀の川大橋(和歌山市)

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[12] クロルデコン	nd	0.20	0.40
[13] ヘキサブロモビフェニル類	nd	1.4	3.6
[13-1] 2,2',4,4',5,5'-ヘキサブロモビフェニル(#153)	nd	0.4	1.0
[13-2] 2,2',4,4',5,6'-ヘキサブロモビフェニル(#154)	nd	0.2	0.6
[13-3] 2,2',4,4',6,6'-ヘキサブロモビフェニル(#155)	nd	0.1	0.3
[13-4] 2,3,3',4,4',5'-ヘキサブロモビフェニル(#156)	nd	0.4	1.0
[13-5] 3,3',4,4',5,5'-ヘキサブロモビフェニル(#169)	nd	0.3	0.7
[14] ポリブロモジフェニルエーテル類(臭素数が4から10までのもの)	15,000	47	100
[14-1] テトラブロモジフェニルエーテル類	35	4	9
[14-1-1] 2,2',4,4'-テトラブロモジフェニルエーテル(#47)	nd	10	30
[14-2] ペンタブロモジフェニルエーテル類	43	4	6
[14-2-1] 2,2',4,4',5'-ペンタブロモジフェニルエーテル(#99)	tr(2)	2	5
[14-3] ヘキサブロモジフェニルエーテル類	tr(5)	3	9
[14-3-1] 2,2',4,4',5,5'-ヘキサブロモジフェニルエーテル(#153)	tr(1)	1	2
[14-3-2] 2,2',4,4',5,6'-ヘキサブロモジフェニルエーテル(#154)	tr(1)	1	3
[14-4] ヘプタブロモジフェニルエーテル類	tr(6)	3	7
[14-4-1] 2,2',3,3',4,5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル(#175)及び	tr(3)	3	7
[14-4-2] 2,2',3,4,4',5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル(#183)の合計値			
[14-5] オクタブロモジフェニルエーテル類	12	4	10
[14-6] ノナブロモジフェニルエーテル類	940	9	23
[14-7] デカブロモジフェニルエーテル	14,000	20	40
[15] ベルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)	10	2	5
[16] ベルフルオロオクタンスルホン酸(PFOA)	89	2	5
[17] ペンタクロロベンゼン	52	2	5
[18] エンドスルファン類	tr(22)	14	39
[18-1] $\alpha$ -エンドスルファン	tr(14)	10	30
[18-2] $\beta$ -エンドスルファン	tr(8)	4	9
[19] 1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン類	nd		
	nd	1,200	1,700
	nd		
[19-1] $\alpha$ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd		
	nd	280	420
	nd		
[19-2] $\beta$ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd		
	nd	170	250
	nd		
[19-3] $\gamma$ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd		
	nd	260	400
	nd		
[19-4] $\delta$ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd		
	nd	250	350
	nd		
[19-5] $\epsilon$ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd		
	nd	210	280
	nd		
[20] N,N-ジメチルホルムアミド	nd		
	nd	2,600	3,200
	nd		

(注1) 検出下限値以上を検出とした。  
 (注2) 定量[検出]下限値は同族体ごとの定量[検出]下限値の合計値とした。